

婦人関係資料シリーズ  
参考資料 第三十六号

京都婦人少年室

# 家事労働に関する意識調査

— 婦人会議用資料 —

労働省婦人少年局

# はしがき

婦人少年局では昨年十一月婦人参政十周年記念事業の一つとして婦人の地位に關する調査を行つて、社会、政治、家庭、職業、結婚等の各面から婦人の意識及び婦人の占めてゐる地位を明らかにしようとした。ここにまとめたものは、その中の家事勞務に關する部分の結果の概略である。(回収率九五%)

## 一 調査方法

調査期日 昭和三十年十一月

調査対象 全国六〇地域の二〇才以上の女子二、〇〇〇名

調査方法 無作為抽出による面接調査

## 二 調査結果の概要

### 1. 調査の対象者

調査対象者の七二%は有夫の婦人で、未婚者はわずかに一二%である。職業は勤務してゐるもの一%、自営八%、内職者四%で、四二%が家族従業者として家業を手伝ひ、三五%は無職者(家事のみをする若及び学生)である。有夫のもの夫の職業で最も多いのは農林漁業で、自営、家族従業者合せて三七%を占めてゐる。

### 2. 家事勞務に對する男子の協力

平常生活において、家族の中の男子が家事を分担してゐないという回答は五七%で過半数を占め、分担してゐるという回答は三八%である。これを調査対象者の婚姻別、夫の職業別のいずれの角度からみても「分担してゐない」方が「分担してゐる」方より多い。両者の肉きは、夫の職業が自由業(肉業、裁縫士、作家、その他)のものが最も大きく(七二%)(二九%)、労働職が最も小さい(五五%)(四四%)。

また平常でなく、臨時に主婦が出産や病気などで家事ができなない場合にも、代つてするものは、一、姑(二七%)、二、娘(二四%)、三、男を含めた家族(一八%)、四、夫(一七%)、五、家政婦(九%)の順と成つていて、家事勞務に對する男子の協力は一般に低いといえる。

### 3. 家事労働に対する婦人の意識

「家事労働はやりがいのある仕事だと思ひますか」という質問について、調査対象者は二種の意見方を示している。一つは家事労働を人間関係と見做して考えず、家政全般、あるいはさらにひろく家の座というものとして受けとつて、やりがいについて答えているものであり、それはやりがいがあると答えたものに多い。他の一つは家事労働を家族内の人間関係と見做して、単なる作業として答えているものである。この方は未婚者に多い。(8頁参照)

全体の八六%がやりがいがあると思ひ、そのうちの半数近い四六%（全体の三九%）が一家あるいは家族の誰かのためにサービスできることを理由にしている。(このことはやりがいがないと答えた者に、孤独であることや、養育する者——夫、あるいは子供——との別居を理由にやり甲斐がないと答えている者があつたことと対照的である。)

この場合、没我的、ざせいのめものは一家を切り盛りする管理意識のものとがある。次に多いのは家事労働は女（主婦）のつとめであつて、女でなければうまくできない、夫の働きに対応する妻の働きである。女として当然のことであるとして答えているもので、十五%（全体の一二%）を占めている。

「女のつとめである」を理由にしてはいるが、これからは、習慣性無自覚と、これに對照的は建設的自覚との相反する二つの意識がうかがわれる。

なお、育児、炊事、掃除、洗濯等のいずれか一つを鮮明に意識して答えているものが多数あつた。それに重点を置いて答えているのか、あるいはそれのみにやり甲斐を感じて答えているものとみられる。

やりがいがあると答えたものは有配偶者の場合はその八七%に達しているが、死別者では七九%にすぎない。

やりがいがないと答えたものは全体の一一%にすぎないが、それは死別者の場合が最も多く一七%を示し、他は未婚者一一%、有配偶者一〇%の順である。やりがいのない理由としては未婚者の場合

自分にとつてかもしろくない（自分のために役に立たない）といふことをあげて答えているのが目立つて多い（四三%）。なお、女の仕事であるからやりがいがないといふものがある。（同様の理由がやりがいがある方にもある。）

## 三 質問と結果

### (一) 基本事項（一部）

#### 1. 婚姻関係

|     | 市 部 | 郡 部  | 計           |
|-----|-----|------|-------------|
| 有配偶 | 五二八 | 八三四  | 一三六二（七二%）   |
| 未婚  | 一〇〇 | 一三七  | 二三七（一二%）    |
| 死別  | 九八  | 一九九  | 二九七（一六%）    |
| 計   | 七二六 | 一一七〇 | 一八九六名（一〇〇%） |

#### 2. 調査対象者の職業形態

|               |       |        |
|---------------|-------|--------|
| 自 営           | 一四五   | （八%）   |
| 被 雇           | 二〇二   | （一一%）  |
| 家族従業          | 七九三   | （四二%）  |
| 内 取           | 七八    | （四%）   |
| 無 取（家業のみ又は学生） | 六七八   | （三五%）  |
| 計             | 一八九六名 | （一〇〇%） |

3. 有配偶者の夫の職業形態

自営者

七四〇（五四％）

農林漁業 四四八

商工飲食業 二三一

サービス業 三〇

自由業 三一

被傭者

四七六（三五％）

管理取 三六

事務取 二三〇

労務取 二一〇

家族従業者

六九（五％）

農林漁業 五四

非農林漁業 一五

内取

無取及公廻回感

計

一三六二名（一〇〇％）

(二) 家事の分担

／＼ 廣向 おたぐでは男の人でも家事を分担して頂いますか

（全対象者に）

分担している 三八

分担していない 五七  
該当しない 五

計

一〇〇％

（有配偶者の夫の職業別にみた分担非分担の比率）

分担している 分担していない

自営者

％

％

農林漁業

四三

五六

商工飲食業

三六

六四

サービス業

三七

六〇

自由業

二九

七一

被傭者

三三

六四

管理取

四二

五八

事務取

四四

五五

家族従業者

三三

六七

農林漁業

三三

六七

非農林漁業

四六

五二

無取

二〇

〇〇

（分担しているものに、誰が分担しますか）（MAN）

一〇〇

〇〇

夫

六一

非該当

％

計

％

息子 三五  
 父 一三  
 兄弟 一二  
 その他 七  
 計 二八%

2. (MAは二以上の回答をしてよいので、計は100%をこえることがある。)  
 質問 おたくでは主婦が出産や育児をするいは留守の場合、家事を誰が代わりますか。  
 (全調査対象者K) (MA)

夫がする 二七  
 娘がする 二四  
 男を含めた家族がする 一八  
 夫がする 一七  
 家政婦や手伝の人を雇う 九  
 非該当その他 八  
 計 一〇三%

(主婦が出産育児はどの場合誰が代わりますか) (MA)  
 有配偶者の夫の取業別の比較

| 自営  | 夫  | 男を含めた家族 | 姑  | 娘  | 家政婦<br>手伝人婦 | 非<br>該当<br>その他 | 計    |
|-----|----|---------|----|----|-------------|----------------|------|
| 自由業 | 二九 | 一〇      | 一六 | 一六 | 二三          | 九              | 一〇三% |

| サービス業 | 商工飲食業 | 農林漁業 | 被服 | 管理職 | 事務職 | 労働取 | 家族従業 | 農林漁業 | 非農林漁業 |
|-------|-------|------|----|-----|-----|-----|------|------|-------|
| 一七    | 二〇    | 一九   | 二二 | 二五  | 三四  | 三   | 九    | 一七   | 一七    |
| 二七    | 一三    | 一九   | 一四 | 一四  | 一六  | 一七  | 一三   | 一七   | 一三    |
| 一七    | 二七    | 三五   | 八  | 三五  | 二五  | 六〇  | 五五   | 一七   | 一七    |
| 一〇    | 一九    | 二二   | 一一 | 一四  | 一六  | 一三  | 一一   | 一三   | 一三    |
| 二七    | 一八    | 四    | 二  | 一三  | 七   | 〇   | 二    | 二七   | 二七    |
| 二三    | 五     | 二    | 六  | 六   | 五   | 一四  | 六    | 一四   | 一四    |
| 一一    | 一〇    | 一〇   | 一〇 | 一〇  | 一〇  | 一〇  | 一〇   | 一〇   | 一〇    |

(三)

家事労働についての意見

質問 あなたは家事労働はやりがいのある仕事だと思つていますが、それともやりがいのない仕事だと思つていますか。

(全調査対象者K)

| やりがいがある | やりがいがなし | 無回答その他 | 計    |
|---------|---------|--------|------|
| 八二      | 一一      | 七      | 一〇〇  |
| 八七      | 一〇      | 三      | 一〇〇  |
| 七九      | 一七      | 四      | 一〇〇  |
| 八六      | 一一      | 三      | 一〇〇% |

（やりがいがあると答えたもの）  
 廣向 どうしてですか

家のため家族のために  
 女（主婦）のつとめであるから  
 自分にとつて益となるため  
 自分で研究工夫してゆける仕事だから  
 その他  
 わからない 無回答

計

「その他」は習慣的に妨けているが、やればやつただけのことはあるから、家族が協力してくれるから、家族（男子）が認めてくれるから、羞しむきが家で会所の設備がよいから等である。

（やりがいがないと答えたものに）  
 廣向 どうしてですか

現金収入を伴わないから  
 仕事にさげんがはない  
 自立たない仕事だから（人に認められない仕事）  
 自分にとつておもしろくないから  
 その他

| 未婚 | 有配偶 | 死別 | 計  |
|----|-----|----|----|
| 0  | 8   | 23 | 11 |
| 7  | 14  | 4  | 11 |
| 7  | 16  | 16 | 15 |
| 43 | 10  | 8  | 14 |
| 25 | 19  | 23 | 20 |

わからない 無回答

計

「その他」は、姑（嫁）のやり方に対する不満、家族の無理解、家族がないので淋しい、つとめと両方で忙しすぎる、女の仕事だから等である。

（やりがいがないと答えたもので、家事のみをしているものに）  
 廣向 あはにはすすんで工夫しながらしていただきますが、それとも工夫しても仕方がないと思つてい  
 ますか。

工夫している 三八  
 工夫していない 一三  
 無回答 二〇  
 計 七一名

未婚

有配偶

死別

計

| 未婚  | 有配偶 | 死別  | 計    |
|-----|-----|-----|------|
| 18  | 33  | 26  | 29   |
| 100 | 100 | 100 | 100% |